第９講 【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル
PART5 モンゴルの東西交流と元の文化

Chapter１ モンゴルの東西交流と東アジアの状況

目標
モンゴルの遠征は，東南アジアの諸地域にどのような影響を与えたのだろうか。マルコ＝ポーロの『世界の記述』（『東方見聞録』）がヨーロッパに与えた影響を理解しよう。

1 元代の東アジアの状況

①朝鮮半島

A　モンゴル軍の侵攻

1259年　**高麗**がモンゴル軍に侵攻されて武臣政権が崩壊。モンゴルに服属する

1274年　元軍に属して日本へ遠征

B　高麗の文化

あ　仏教を国教とし，木版印刷によって**高麗版**〔　　　　　　　　〕を刊行

い　世界で最初に金属で活字をつくる技術〔　　　　　　　　〕を考案

う　宋の青磁の影響を受けて〔　　　　　　　　〕を開発

②日本

1268年　**フビライ**が**高麗**を通じて**鎌倉幕府**に朝貢を求めてくるが，これを無視

1274年　元・高麗の連合軍に侵攻される（**文永の役**）

1281年　元軍が再び侵攻してくる（**弘安の役**）

※元軍の襲来（**元寇**）は，２度とも鎌倉武士の抵抗と暴風雨によって撤退。

→しかし，元寇に対する恩賞不足によって鎌倉幕府への不満が高まる

③ベトナム

13世紀後半　南部の〔　　　　　　　　〕が元軍の侵攻を受けるが撃退

1284年　北部の〔　　　　　　　　〕が元軍に侵攻されるが撃退

※陳朝のとき，漢字をもとに民族文字〔　　　　　　　　〕がつくられる。

④ジャワ島

1292年　内乱によって，シンガサリ朝が滅亡

1293年　元の遠征を撃退，ヒンドゥー王国〔　　　　　　　　〕が建国される

2　元代の東西交流

①東西交流の進展

モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸の東西が結ばれ，交流が活発になる

②外交使節や商人の来朝

ローマ教皇やフランス王が情報収集のため，使節をモンゴル帝国に派遣する

A　ローマ教皇がフランチェスコ会修道士〔　　　　　　　　　　　〕をカラコルムに派遣

B　仏王ルイ９世がフランチェスコ会修道士〔　　　　　　　〕をカラコルムに派遣

C　ローマ教皇がフランチェスコ会修道士〔　　　　　　　　　　　〕を派遣

※元朝の保護を受けて**大都**の初代大司教となる。

D　ヴェネツィア出身の商人〔　　　　　　　　　　〕が，大都を訪れて**フビライ**に仕えたとされる

※旅行記『**世界の記述**』（『**東方見聞録**』）がヨーロッパ人のアジアへの関心を高める。

E　モロッコ出身のイスラーム教徒〔　　　　　　　　　　　　　　〕が大都を訪れる

※帰国後，『旅行記』（『三大陸周遊記』）を口述筆記。

まとめ

モンゴルの遠征を撃退した陳朝大越国では民族文字チュノムがつくられ，ジャワ島ではマジャパヒト王国が建国された。
マルコ＝ポーロの『世界の記述』は東方世界の情報をヨーロッパにもたらし，大航海時代に繋がった。

Chapter２　元代の社会と文化

目標
元代ではどのような宗教が興隆したのか確認しよう。
元で授時暦が生まれた経緯を知ろう。

1　元代社会の文化の特徴

①貴族の宮廷文化が衰退し，庶民文化が発達

②モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸の東西が結ばれ，東西の文化交流が盛んに

2　元代の宗教

①儒教

元は中国の官僚制度を継承したが，儒教は軽視し，科挙を停止

※のちに江南に儒教を学ぶ学院（廟堂）を設立。1313 年に科挙を復活。

②仏教

A　禅宗や浄土宗が栄える

B　宋代にはじまった宗教結社の〔　　　　　　〕が民間で流行

※元代には，弥勒菩薩が救世主として現れるという信仰と結びつき，勢力が拡大。

C　**フビライ**が高僧の**パスパ**を宗教・文化顧問の国師に任じたため，

皇室では〔　　　　　　　　　　〕が保護されて栄える

→過度な帰依や寄進が，元の財政悪化の一因となる

※**パスパ**がフビライの命でモンゴル語を表記するための〔　　　　　　　　〕をつくる。

パスパ文字

3　元代の文芸や美術，書画，工芸

①公用語のモンゴル語をウイグル文字で記す

②宋代の雑劇を発展させた戯曲〔　　　　〕が，都市の庶民の間で流行

A　『**西廂記**』：封建的な束縛に抵抗する男女の恋愛物語

B　『**琵琶記**』：琵琶を弾いて物乞いをしながら上京した妻が，出世した夫と再会する物語

C　『**漢宮秋**』：匈奴に嫁がされた宮女の悲劇の物語

③歴史書

イル＝ハン国の宰相**ラシード＝アッディーン**が〔　　　　　　〕を編さん

④美術・工芸・技術

A　物語の挿し絵として〔　　　　　　〕（**ミニアチュール**）が流行

B　中国から絵画技法が伝えられ，イランの**写本絵画**が発展

C　**景徳鎮**などで，西方から伝来したコバルト顔料を用いた磁器〔　　　　〕が生まれる

→白磁に青色の模様を浮かべる磁器で，世界各地に輸出される

D　イスラーム天文学の影響を受けて元の天文学・暦学が発展

※**郭守敬**が天体観測を行い，そのデータをもとに〔　　　　　　〕をつくる。

→日本で江戸時代に渋川春海がつくった**貞享暦**に影響を与える

E　中国の**火薬**，**羅針盤**，**木版印刷**がイスラーム諸国を通してヨーロッパに伝わる

まとめ

元代では儒教が不振で，民間では白蓮教が流行し，皇室ではチベット仏教が厚遇された。

東西交流の進展によってイスラーム天文学が導入された影響で，郭守敬が授時暦を作成した。

第 9 講　PART 5　確認問題

1 朝鮮半島の高麗で考案された，世界初とされるものはどれか。

① 印刷機　② 火薬
③ 金属活字　④ 製紙法

2 元軍の侵攻を機に，ジャワ島東部に建てられた国を何というか。

① マジャパヒト王国　② クメール王国
③ チャンパー　④ 大越

3 フランチェスコ会の修道士で，元の都の大都で布教に努めたのはだれか。

① プラノ = カルピニ　② イブン = バットゥータ
③ モンテ = コルヴィノ　④ ルブルック

4 『東方見聞録』で知られる，ヴェネツィア出身の商人マルコ = ポーロが仕えたとされる元の皇帝はだれか。

① オゴタイ　② フビライ
③ モンケ　④ フラグ

5 元朝のもとで保護されて栄えた宗教はどれか。

① ヒンドゥー教　② マニ教
③ ゾロアスター教　④ チベット仏教

6 モンゴル語を表記するために，フビライの命でつくられた文字を何というか。

① ソグド文字　② パスパ文字
③ チュノム　④ ウイグル文字

7 元代に流行した元曲の一つで，匈奴に嫁がされた宮女の悲劇の物語はどれか。

① 『西廂記』　② 『漢宮秋』
③ 『琵琶記』　④ 『金瓶梅』

8 郭守敬がつくり，のちの日本の貞享暦に影響を与えた暦を何というか。

① 授時暦　② 宝暦暦
③ 宣明暦　④ 時憲暦

第 9 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：③

13 世紀前半の高麗で，世界に先駆けて**金属活字**が考案された。グーテンベルクが金属活字を使用する印刷技術を実用化したのは，15 世紀半ばである。

2 解答：①

マジャパヒト王国は，元軍侵攻の混乱のなかで建国されたヒンドゥー国家で，ジャワ島東部を中心に繁栄した。

3 解答：③

モンテ＝コルヴィノは元朝の保護を受け，大都で大司教として約 30 年間活動した。

4 解答：②

マルコ＝ポーロは，**フビライ**に厚遇されたとして 17 年間元に滞在した。その間各地を旅行して見聞を広めた。

5 解答：④

チベット仏教が栄えた一方で，過度な帰依や寄進が元の財政悪化の一因となった。

6 解答：②

パスパ文字は，チベット仏教の高僧パスパがフビライの命で作成した文字で，公文書などに用いられたが，一般には普及しなかった。

7 解答：②

『**漢宮秋**』は元曲の代表作の一つ。ちなみに『金瓶梅』は明の時代の小説である。

8 解答：①

郭守敬は，観星台（元代の天文台）で精密な天体観測を行い，そのデータをもとに**授時暦**を作成した。江戸時代に渋川春海がつくった貞享暦の基礎になった。